

企業景況・動向調査

●はじめに

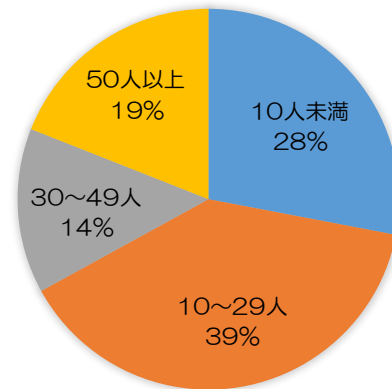
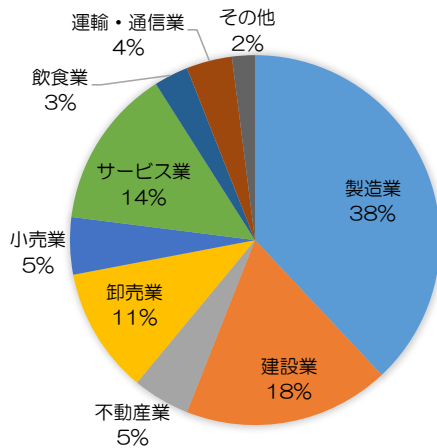
「せいしんビジネスクラブ」総会開催時に、当地区企業の景況・動向調査を目的としたアンケートを実施した。概要は以下の通り。

●調査概要

調査時期 : 令和元年7月16日(火)「せいしんビジネスクラブ 総会」開催時
 調査対象 : 静清信用金庫取引先企業の経営者および後継者で構成する異業種交流会「せいしんビジネスクラブ」会員
 調査対象企業数 : 225社 有効回答企業数 : 172社 有効回答率 : 76.4%

《業種内訳 (n=172)》

《従業員規模内訳 (n=172)》



●要旨

～中小企業の人手不足感は緩和傾向。「人材不足」の企業は3年ぶりに半数を切る。～

～収益面は好調。一方、売上高の見通しには若干の陰りが見られる。～

～今後の経営課題は『研究開発』が増加。「技術力向上」、「高付加価値化」で差別化を狙う動き。～

◆ 売上高および経常利益の実績と見通しについて

- ・売上高実績(2019年1月～6月)は、「増加」が32.0%、「減少」が20.3%となった。
- ・売上高見通し(2019年7月～12月)は、「増加」が29.1%、「減少」が25.0%と若干の陰りが見られた。
- ・経常利益実績(2019年1月～6月)は、「黒字」が79.1%と大半を占めた。
- ・経常利益見通し(2019年7月～12月)は、「黒字」が84.9%と、収益面は好調な様子が窺えた。

◆ 雇用状況・採用予定について

- ・現在の雇用状況は、「不足」が48.8%で最多となったが、3年ぶりに半数を切り、人手不足感は緩和している様子が窺える。
- ・採用活動については、新卒・非正規での採用予定は少なく、中途での採用を予定する企業が約半数を占め、即戦力人材の確保に注力している様子が窺える。

◆ 設備投資について

- ・現状の設備状況において、「適正」が5割を超える一方で、約4割の企業が「不足」と、設備の不足感は解消されていない様子が窺える。
- ・今後の設備投資の予定では、「設備投資を予定している企業」が5割を超え、設備の老朽化による更新投資のほか、省力化投資による生産性向上に取り組む企業が多いものと推察される。

◆ 今後の懸念材料・経営課題について

- ・今後の懸念材料は、依然として「人材」に関する事項が突出して高いものの、原材料価格の上昇や消費税増税を懸念してか、「原油・原材料、仕入価格の変動」が2019年1月比+9.3ポイントと増加した。
- ・今後の経営課題は、「人材の確保・育成」が71.5%で最多となった。2019年1月と比べ「技術力の維持・強化」、「商品・サービスの高付加価値化」が上昇しており、『研究開発』を強化する動きが見られた。